

ロロが高校生に捧げる、  
連作群像劇「いつ高」シリーズ第八弾

劇団ロロ主宰・三浦直之が高校演劇の審査員を務めた経験から生まれた、連作群像劇「いつ高」シリーズ。「いつだって可笑しいほど誰もが誰か愛し愛されて第三高等学校」という架空の高校を舞台に、「まなざし」をテーマに学校の様々な場所での物語を描いたこのシリーズは、2015年から上演を重ね、三浦直之の代表作ともいえる作品です。俳優はシリーズを通して同じ登場人物を演じ、作品ごとに主人公は交代し、それぞれの人間関係を違う角度から描きます。そして実際の全国高校演劇コンクールのルールに倣い、作品の上演時間は60分、そして上演前には10分間の舞台美術のセッティング時間も公開されます。

教室、夜の学校、渡り廊下…これまで学校を象徴するような様々な場所を舞台としてきましたが、タイトルから推察される最新作の舞台は学校の「屋上」。長い期間をかけて紡がれてきた登場人物たちの新たな物語にご期待下さい。

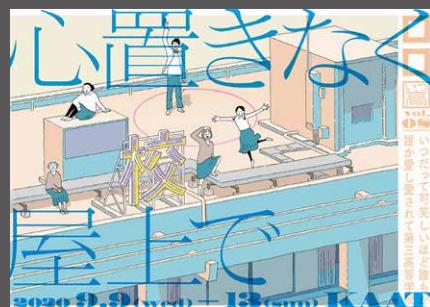


イラスト:西村ツチカ  
デザイン:佐々木敦

提携

ロロが高校生に捧げるシリーズ  
いつ高シリーズ vol.8 「心置きなく屋上で」

9月9日(水)~9月13日(日) | 大スタジオ |

[STAFF]  
脚本・演出:三浦直之

[CAST]  
篠崎大悟 森本華(以上ロロ) 多賀麻美(青年団)  
田中美希恵 端田新菜(ままごと/青年団)  
公演詳細はHPへ

岸田國士戯曲賞を受賞した  
話題作が関東初上演

「あいちトリエンナーレ2019」のパフォーミングアーツ部門で初演、第64回岸田國士戯曲賞を受賞した話題作が、早くも再演されます。人間の行動や身体にまつわる生理、その違和感を独自の言語センスと身体感覚で捉える劇作家・演出家、市原佐都子が、エウリビデスによるギリシャ悲劇「バックスの信女」を大胆に咀嚼し再構築した本作。一見普通の主婦、人工授精によって生まれた牛と人間のハーフ(獣人)、去勢されたペットの犬を中心に物語が展開し、雌ホルスタインの靈魂たちによる合唱隊(コロス)も含め、すべて女性の出演者による音楽劇です。

本家ギリシャ悲劇の上演の構造を借りながら、市原ならではの視点から人や生物の”性”と”生”、内なる欲望と抑圧を鋭く捉えた初演は国内外で高い評価を受け、メインキャストはそのままにわずか1年での再演が決定いたしました。関東初上演となる今回のKAAT公演、お見逃しなく!



©hagie K

提携

Q/市原佐都子  
「バックスの信女ーホルスタインの雌」

9月24日(木)~9月27日(日) | 大スタジオ |

[STAFF]  
作・演出:市原佐都子

[CAST]  
川村美紀子 中川絢音(水の中めがねoo)  
永山由里恵(青年団) 兵藤公美(青年団)  
Eri Liao 勝田智子 小口舞聲 塩澤嘉奈子 中西星羅 (はぎわら水雨子)  
藤本しの 三島早稀 村上京央子(コメディヤス) 渡邊智美 渡邊悠規  
公演詳細はHPへ

KAAT 神奈川芸術劇場開館10周年企画  
宮永亮展「KAA10」

11月21日(土)~1月31日(日)  
アトリウム ほか 入場無料

KAAT 10年の歩みを映像作品で振り返る

これまで白井晃芸術監督と何度もタッグを組み、舞台映像を手掛けてきたビデオ・アーティスト、宮永亮による映像展を期間限定で開催いたします。KAAT 神奈川芸術劇場で上演された様々な作品からインスピレーションを受け、独自の視点により映像化した作品を、10周年にちなみ、劇場内の10箇所で開催します。沢山の作品を俯瞰したところから見えてくる新たな可能性を、ぜひご覧ください。



参考作品 | 宮永亮「WAVY」2014 ビデオアート



上:「挫波(ザハ)」 下:「敦賀(もんじゅ)」

コロナ禍から生まれた、「新しい演劇のかたち」

文:佐々木敦

『「未練の幽霊と怪物」の上演の幽霊』は、新型コロナウイルスの感染拡大によって残念ながら上演中止となってしまった岡田利規作演出による舞台『未練の幽霊と怪物』の、まさかのリベンジ企画である。まさかの、というのは他でもない。今回のコロナ禍で数多くの公演の実施が阻まれ、その結果、さまざまな方法による「オンライン演劇」が登場したが、YouTubeでLive配信された、この「上演の幽霊」は、その中でも一際ユニークな試みだった。画面に映し出されるのは道路に面した何処とも知れぬ部屋に置かれたテーブル。何者かが小さなスクリーンを配置していくと、そこに人物たちが投写され、演劇が始まる。それはKAATで上演されるはずだった『未練の幽霊と怪物』の一部である。映像の中の映像としての演劇。岡田がここ数年取り組んでいる「映像演劇」の手法ともリンクしつつ演じられ(奏でられ)るそれは、確かに実現することのなかった「上演」の「幽霊」だった。言うまでもなく「幽霊」とは岡田=チェルフィッチュの最重要テーマのひとつである。正式な上演が待ち望まれることは言うまでもないが、これはこれでひとつの「新しい演劇のかたち」を提示し得ていたと思う。

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース  
『未練の幽霊と怪物』の上演の幽霊

6月27日(土)~28日(日) | KAAT YouTubeチャンネル |

作・演出:岡田利規 音楽監督・演奏:内橋和久  
映像:山田晋平 音響:稲住祐平 美術協力:中山英之  
出演:森山未來 片桐はいり 栗原類 石橋静河 太田信吾/七尾旅人

【KAATオンラインコンテンツについて】

新型コロナウイルスの感染拡大の影響と神奈川県からの外出自粛要請により、KAAT 神奈川芸術劇場も4月から約3ヶ月間臨時休館とし、9月上旬までの自主事業も中止または延期となりました。広報誌Angleは7月1日発行号を延期し、代わりに芸術監督対談をオンラインで実施したほか、劇場HPでは映像でのバックステージツアーや過去の作品のダイジェスト動画、アーカイブ映像など、ご自宅でも楽しめるようなコンテンツを配信してまいりました。

8月末からは公演中止となった『二分間の冒険』から生まれた映像企画・クイズ『ダレカハドコダ』、ゲストに中田亮さん(オーサカ=モノレール)をお迎えしてオンラインで実施した芸術監督トーク『SHIRAI's CAFE』シリーズカフェ オンラインスペシャルなどを公開しています。ぜひご自宅でもKAATの作品をお楽しみください。



クイズ「ダレカハドコダ」



KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督トーク  
『SHIRAI's CAFE』シリーズカフェ OnLineスペシャル  
ゲスト:中田亮(オーサカ=モノレール)

貸館 発売中

劇団かかし座『劇場版宝島』

10月11日(日) 10:30/14:00 | ホール |

[STAFF]  
作:ロバート・ルイス・スティーブンソン  
脚色:後藤圭 若林一郎  
演出:後藤圭 音楽:石川洋光

[CAST]  
劇団かかし座  
菊本香代 賀来俊一郎 好村龍一  
飯田美紀 菊地麻里子  
飯田周一 樋口優太 伊藤篤志  
小林真利子 本望晴香 西出沙織

[チケット料金(税込)]  
全席指定 ¥3,000  
こども(12歳以下) ¥1,500  
※「こども」料金は、3歳以上12歳以下対象。  
3歳未満は膝上での無料観覧可。  
配信視聴券 ¥1,000

[お問い合わせ]  
045-592-8111 / info@kakashiza.co.jp  
(劇団かかし座)

【主催公演のお問合せ】

チケットかながわ  
Ticket Kanagawa

[Tel] 0570-015-415 (10:00~18:00)  
[Web] <https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> (24時間受付)  
[Box office] KAAT 神奈川芸術劇場2F (10:00~18:00)・神奈川県民ホール (10:00~18:00)・神奈川県立音楽堂 (月休 13:00~17:00)

【KAme(かながわメンバーズ)とは?】インターネット(パソコンとケータイ)で24時間チケットの予約が可能な無料の会員制度「かながわメンバーズ(通称KAme)」に登録すると、先行予約(webのみ)、メルマガ配信などの特典を受けられます。KAmeは神奈川県民ホール・神奈川県立音楽堂を含めた3館の会員制度です。

※車いすでご来場の方は事前にお問合せ先にご連絡ください。※未就学児のご入場はご遠慮下さい。(一部公演をのぞく)